

りゅうこうじしみず
龍興寺清水

所在地	長野県下高井郡木島平村大字穂高 1 2 8 2 番地 4	種類	湧水
< 写真 >			
			
概 要			
<p>この清水は、木島平村内山地区の龍興寺（現在は公民館）の横に湧出していたため、「龍興寺清水」と呼ばれ、飲料水やニジマスの養殖、農業用水として広く利用され、平成 2 0 年には、環境省の新名水 1 0 0 選に選ばれました。</p> <p>寛文元年（1 6 6 1 年）萩原喜右エ門がこの清水を利用してコウゾやノリウツギを原料とした紙すきを始めたことから、「内山和紙」発祥の地としても知られています。</p>			
水質・水量			
<p>日量 1 , 2 2 3 トンの湧水は、湧き出たとされる正応 2 年（1 2 8 9 年）から枯れることなく四季を通じて飲用されています。</p>			
周辺環境			
<p>裏山周辺の山々には、多様な山菜や野草があります。また、村内南東部は、上信越高原国立公園内の「カヤの平高原」があり、ブナの大木や白樺の群生が見られ「日本一美しい森」とも呼ばれています。</p>			

利用状況

地元の人々は、飲用の他に蕎麦やうどんを茹でたり、野沢菜漬をする前に清水を使って野沢菜を洗うなど生活用水やニジマスなどの養殖業に利用しています。また、農業用水としても利用されています。

水環境保全活動

地元内山区（68世帯）住民が当番制で月に一度清掃活動を行っているほか、住民主体で「内山和紙発祥の地」の石碑、説明看板、案内板の設置を行い、定期的な水質検査も実施しています。

故事来歴

正応2年、住職が撤通大禅師を招いて座禅供養会を催したとき、1人の美女が来て「某（それがし）にも戒法を授けたまえ。我は居多ヶ浜人なり。」と名乗り、7日の戒行が終わると、「我は居多明神なり、戒法を授けていただいたお礼に霊泉を献ずる。」と告げ、姿が消えるとこの地に冷水が湧き出したものと伝承されています。

アクセス

JR 飯山駅から野沢温泉行きバスで中村下車、徒歩25分
上信越道豊田飯山ICから車で25分

<マップ>



お問い合わせ

〒389-2392 長野県 下高井郡 木島平村大字往郷973-1
(木島平村役場環境整備課 環境整備係)

TEL: 0269-82-3111 E-mail: kankyo@kijimadaira.jp

当該湧水等のURL

http://kijimadaira.jp/public_html/guide/simizu.htm